

青梅線ワンマン プロジェクト情報

★主な意見

- 異常時対応では放送、連絡、対応保1人でおこなう
- 全ての作業を1人で行うため高い集中力が求められ疲労が溜まる
- お客さまへの周知が実施二ヶ月前程度に放送を行ったのみである
- 乗降確認車載モニターの映像が見にくい
- 停車時間が短く回復運転が不可能である
- 全車掌が転勤になり、希望通りの転勤でなかった仲間もいた。

6月5日青梅線ワンマンプロジェクトでは7名の参加者とともに、主に茅ヶ崎運輸区にて安全運行を担っている横浜地本の仲間達と意見交換会を行いました。相模線では今春よりワンマン運転が実施されており提案から実施まで苦労した点など聞くことができました。



今後議論してきたことを精査し説明申し入れを行う予定です



**雇用を守り、そして働きやすい
職場を作るためともに頑張りましょう！**